

マーケットの動き (2021年3月29日～4月2日)

先週の国内株式市場は、TOPIXは下落した一方、日経平均株価は上昇しました。週の前半は、米国投資会社に絡む巨額損失が世界の金融機関へ拡大する懸念から様子見ムードが強まりました。週の後半は、バイデン政権がインフラ投資計画の概要を公表したことや、米国経済指標の強い結果から景気回復期待が高まり、米国株式市場上昇の流れを受けて日経平均株価も上昇しました。

投資環境見通し (2021年4月)

日本株の世界景気に対する感応度の高さが評価される可能性

新型コロナウイルスの1日あたり新規感染者数が足元で増加傾向にあること、半導体の供給懸念に起因する自動車メーカーの業績が懸念されます。しかし、米国や中国など外需の改善を受けて、企業業績は製造業を中心に回復が見込まれます。これまでの上昇相場を受けて高値警戒感が強まっており、今後の上昇余地は限定的との見方がありますが、コロナ後を想定した場合、日本株の世界景気に対する感応度の高さが評価される可能性があるかとみています。

	4月2日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,971.62	▲0.63%	4.05%	22.52%	48.26%
日経平均株価	29,854.00	2.32%	1.52%	29.63%	67.54%

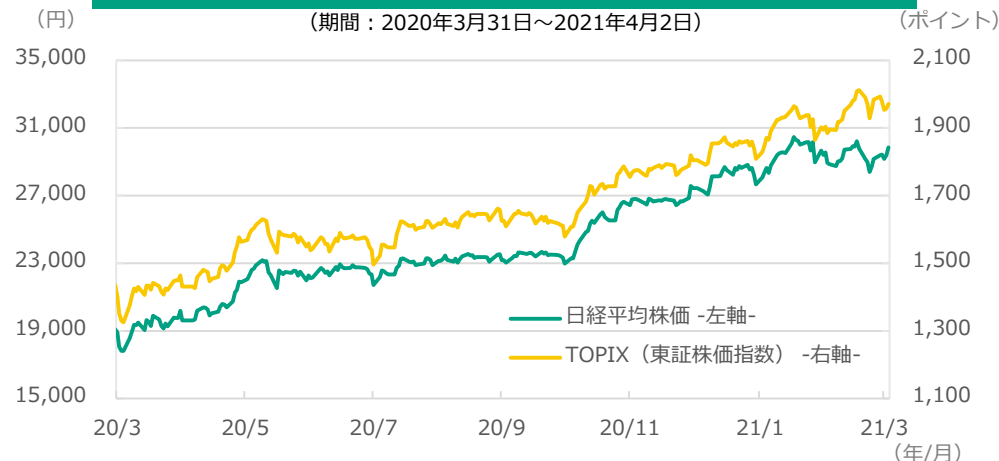
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202104_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2020年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成